



エコシン

一般社団法人長野県環境保全協会

No.203
2019/11/25
Less CO₂!

令和元年度（第8回）定時総会を開催しました

令和元年度定時総会が、10月15日(火)に長野市のホテル国際21で開催されました。

決議事項の①平成30年度事業報告に関する件、②平成30年度収支決算に関する件、③役員選任に関する件はいずれも原案通り承認されました。

その他、①令和元年度事業計画に関する件、②令和元年度収支予算に関する件について報告がありました。

山浦愛幸会長挨拶要旨



台風19号で被災された会員ほか関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

地球温暖化が要因と思われる台風などの災害が今年も続いている。9月に、ニューヨークで開催された国連気候行動サミットでは、スウェーデンの16歳の少女グレタ・トゥンベリさんが世界の指導者に対して温暖化防止対策の遅れを批判した。

日本では、今年6月に軽井沢で地球環境をテーマにG20関係閣僚会合が開催された。

SDGsについては、県のSDGs推進企業登録制度の第1期に80社が登録されている。

当協会は昨年創立20周年を迎え、今年から新しいスタートを切っている。会員の皆様と協力して地球環境保全に資することを進めていきたい。

ご来賓ご祝辞要旨

長野県環境部長 高田真由様

台風19号で被災した方々にお見舞い申し上げます。

県の下水処理場が被災し、県民の皆様にご迷惑をかけておりお詫びしたい。

6月に発表した「持続可能な社会づくりのための協働に関する長野宣言」は、国内外から130の自治体、団体などから賛同を得ている。

県では、海洋プラスチック問題に関して、上流県の責任を果たすべく「信州プラスチックスマート運動」を県民に呼びかけ、協力事業所を募集するなど取り組みを進めている。



八十二銀行副頭取 松下正樹様



今回の被災された方々にお見舞い申し上げます。

環境保全を企業のCSR活動の一環として位置づけており、昨年8月には、環境大臣から「エコ・ファースト企業」に長野県で初めて認定された。

地球環境がこれ以上悪化しないよう協会とも協力して努めていきたい。

Eco
Plaza



「住み続けられるまちづくり」で中心的な役割を

(株)竹内製作所 代表取締役社長 竹内 敏也



竹内製作所は小型建設機械メーカーで、当社製品は世界各地の住宅建築や生活インフラ整備をはじめ、主に都市部での土木工事で活躍しており、衣食住の「住」を支えています。坂城町の本社工場では、大容量の太陽光発電を屋上に設置、照明設備のLED化、デマンド監視の自動制御等、エネルギー使用の合理化に取り組んでおります。また、SDGsを念頭に持続可能な会社経営を推進して行きます。中でも「11. 住み続けられるまちづくりを」は当社の事業領域そのものであり、より安全で、より効率的で、よりクリーンなまちづくりを支える建設機械の提供を通じ、広く社会に貢献してまいります。

第 21 回信州エコ大賞 表彰式「大賞」1 団体 1 個人「奨励賞」1 企業

第 21 回「信州エコ大賞」の表彰式が、10 月 15 日に開催された定時総会の席上で行われ、「信州エコ大賞」2 件、「奨励賞」1 件が表彰されました。受賞者と出席者は下記の通りです。

- ▼信州エコ大賞
- ▽伊那谷自然友の会 会長 中村貴俊様
- ▽有賀宏道様
- ▼奨励賞
- ▽(株)キラヤ 取締役 市村益男様



「信州エコ大賞」を受賞した、伊那谷自然友の会の中村貴俊会長様（写真左下）から受賞者を代表して挨拶があり、大賞受賞者による活動の紹介がありました。



有賀宏道様（写真右上）
市村益男様（写真右下）



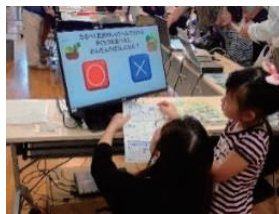
定時総会・表彰式の終了後、信州大学名誉教授の鈴木啓助さんを講師に「南極で考える地球環境問題」と題して、一般公開の環境講演会が開催されました。講演内容は来年 1 月発行の新年号で詳しく紹介する予定です。

各地で環境フェアが開催されました

ながの環境フェア

「第 24 回ながの環境フェア」が、ながの環境エネルギーセンター隣のリサイクルプラザで、9 月 29 日（日）に開催されました。

犀陵中学校吹奏楽部によるオープニングイベントを皮切りに、リサイクルに関するパネル展示やエコ商品の展示販売、ごみ処理の様子が体験できる環境エネルギーセンター見学ツアー、小型家電回収、野菜市な



ど盛りだくさんな内容で行われ、多くの来場者で賑わいました。

長野市センターは、エコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験、タッチパネルによる環境クイズ（写真）を実施し、環境負荷軽減への取り組みなどをアピールしたほか、環境省が進める「COOL CHOICE」宣言の呼びかけなども行い、多くの方にご賛同いただきました。（長野市センター事務局長 宮沢 博）

松本市消費生活展

10 月 5 日（土）に松本市あがたの森文化会館で松本市消費生活展が開催されました。

「起こそう！SDGs アクション～ひろめようエシカル消費～」をテーマに市内の団体などが 24 のブースを出展し、暮らしに役立つ各種展示や体験学習会などを実施いたしました。



中信支部ではエコネットまつもとによる木工教室やバウムクーヘンづくり（写真）、また、自然エネルギーの体験コーナーでは発電自転車の乗車体験やソーラーカーの試乗体験、「COOL CHOICE」に関するコーナーではパネル展示などのスタッフとして参加いたしました。

（中信支部 宮坂 学 キッセイ薬品工業(株)）

地球温暖化防止活動推進センター通信

密着レポート 県推進員出前講座@長野市立裾花小学校

9月26日(木)、長野市立裾花小学校で行われた、第1回ポップラっこ1年生「ちいきのかたにまなぶ日」は、保護者や地域住民有志が講師となって、得意なお茶・お琴・ちぎり絵・マジックなどを教える13の講座から2講座を、1年生が4~7人のグループで体験するものです。

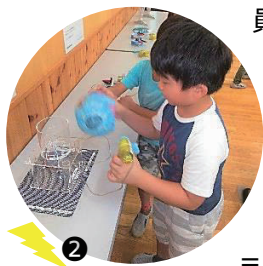
県推進員の新田詔三さんが、同じく県推進員の末広繁和さんの協力のもと、講師を務めた講座『でんきをつくろう そして使ってみよう』に密着しました。

「お願いします！」の元気な挨拶、自己紹介を経て、スライドで今回体験する実験機器について、ポイント・注意点を説明したら、いよいよ体験です。2グループとも7人全員男子で好奇心旺盛、溢れる

パワーに圧倒されることもありました。時間の許す限り何回も何回も楽しそうに発電していました。

エアロバイク発電機 [①

=1番人気]のペダルを懸命にこいで、電動のクマのおもちゃに笛やたいこを演奏させたり、扇風機の風量を「強にしてー！」と、より負荷が大きい方に挑戦したり。



②



でんきのせんせい・新田推進員



末広推進員

①

手回し発電機で紙風船の地球を浮かせる浮き浮き実験器[②=2番人気]が真っすぐ上がらず横揺れする様子に「地球がおどってる♪」と喜び、南極を上にして“逆さま”の地球を面白がったり。

どちらが早く微風風力発電機[③]のライトを点灯させられるか、うちわで仰ぐ競争をしたり。

終了5分前に再び着席、「今日は電気をつくるのが大変だということがよくわかったね。大切に使って地球を守ろう」というメッセージで締めくくられました。

「子どもたちと楽しい時間が過

ごせた」と仰る推進員さんお二人の充実した表情が印象的で、「楽しい」は活動の“源”だと感じました。

後日参加児童から届いた絵入りのお礼状はどれも微笑ましく、「めっちゃあせをかきました。でんきをつくってるひとにかん



③



しゃします。これからもでんきをたいせつにつかいます。」と書かれたものもありました。

WARMBIZ 実施中 旬をおいしく！体をあたためる食べ物



6月号の「体を冷やす食べ物」に続き、今号では、体の中から温める効果がある食べ物を紹介します。また、寒くなると食べたくなる鍋料理は、みんなで楽しみながら、おいしく、部屋と体をあたためることができる“日本の知恵”。今冬は「鍋でウォームシェア」もいかがでしょうか😊

色で見分ける -赤・黒・橙-	産地で見分ける -北方産-	硬いもの
チーズ 赤ワイン 黒ビール そば 和菓子 黒砂糖 根菜 (ごぼう・大根・にんじん・かぶ etc.) 山芋 しょうが にんにく たまねぎ 長ネギ 海藻 赤しそ 牛肉	(温帯~寒帯) りんご さくらんぼ ブルーン ぶどう 塩鮭 鱈 えび いか あさり 紅茶 日本酒 筑前煮 ブイヤベース	(水分が少ないもの) 玄米 あずき あんこ 味 塩辛い (味噌・しょうゆ・塩・唐辛子)

(参考) JCCCA『クールチョイス！節エネガイド』(2017年)・「暖冷たべものゲーム」、ホームページ「石原結實の健康法」

12月 は 地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間

各地で環境フェアが開催されました (2面より続く)

伊那市環境展



昨年は台風により中止となった伊那市環境展が、今年は10月6日(日)に伊那市防災コミュニティセンターで開催されました。晴天に恵まれ、会場には地域で活動するグルー

プ、団体、企業などのブースが多数出展し、若い親子連れで賑わいました。当協会は、エコドライブシミュレーターを使用してエコドライブ講習会を実施し、地球環境に優しい運転を呼びかけました。また、デジタル地球儀「スフィア」を利用して地球温暖化の現状を訴えました。

長野市環境子どもサミット

「第24回長野市環境子どもサミット」が10月27日(日)に長野市リサイクルプラザにおいて開催されました。

今年は「自然のめぐみからのエネルギー 地球を未来につなげるために考えてみよう!」をテーマとして、小中学生の環境学習活動の発表、学習会、環境ビデオ上映のほか、森の材料を使った工作、買い物ゲームなどに挑戦する体験ブース、フードライブなどが行われました。



長野市センターは、「省エネ」実践につながるヒントを発見していただくため、様々な方法で電気を作ったり、デジタル地球儀「スフィア」で地球を観察するコーナーを設けました。子どもたちは、危機的な状況にある地球の様子を観察したり、発電体験、タッチパネルのクイズ等に挑戦し、温暖化を止めるための行動の必要性を体感できたのではないのでしょうか。

(長野市センター事務局長 宮沢博)

高原の都市エコフェスタ

10月26日(土)に茅野市民館で「高原の都市エコフェスタ2019」が開催され、協会では、デジタル地球儀「スフィア」と「家庭の省エネ」のブースを設けました。ちょうど台風19号が長野県内に大きな被害をもたらした直後だったため、来場者は宮澤信推進員の解説とともに「スフィア」の球体に映し出される地球環



境の実態や二酸化炭素の増加による今後の地球温暖化シミュレーション等を興味深く見つめ、様々な質問をしていました。

会場には、小型プラネタリウムや各種のエコ体験コーナーが設置され、終日親子連れを中心に賑わいました。

(総務部長 北村義明)

会員数

(2019年10月31日)

* 特別会員 92名 * 一般会員 436名
* 賛助会員 203名 * 総会員数 731名

行事・イベント情報

▼12/1(日) カードゲーム「2030SDGs」長野市
▼12月下旬 カレンダープレゼント会

編集後記

台風19号による未曾有な被害が見えてきました。地球温暖化がこのまま進めばこうした台風が毎年発生する可能性があります。温暖化防止対策の更なる推進と社会インフラの整備が急務となっています。

年末年始で宴席などが増える季節です。食べ残しなど食品ロスが発生しないようにしたいものです。

発行元

〒380-0835 長野市新田町 1513-2

□ 一般社団法人 長野県環境保全協会

TEL.(026)237-6620 FAX (026)238-9780
E-mail:nace@janis.or.jp http://nace.main.jp/

□ 長野県地球温暖化防止活動推進センター

TEL.(026)237-6625 FAX (026)238-9780
E-mail:nccca@dia.janis.or.jp http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/

□ 長野市地球温暖化防止活動推進センター

TEL.(026)237-6681 FAX (026)237-6690
E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp
http://www.eco-mame.net/